

新規採択分（平成29年度）

研究種目	学部	職名	氏名	課題番号	課題テーマ	交付額 (千円)
基盤B	地球	教授	山下 清海	17H02425	地域活性化におけるエスニック資源の活用に関する応用地理学的研究	3,000
基盤C	経済	教授	浅子 和美	17K03724	開放経済下の最適環境税 — 生産地主義と消費地主義の理論・実証分析	800
基盤C	経済	教授	河原 伸哉	17K03725	国際貿易、観光、環境に関する経済理論モデルの構築とその分析	900
基盤C	経済	教授	宮川 幸三	17K03664	商業活動の統計的把握に向けた一次統計のあり方に関する調査研究	900
基盤C	経済	准教授	櫻井 一宏	17K03726	物質循環と水循環を考慮した流域圏モデルによる環境経済政策評価	1,600
基盤C	経営	教授	高見 茂雄	17K03901	日本型財務保守主義の実態と企業価値に与える影響	1,600
基盤C	社福	教授	保正 友子	17K04261	固有性・専門性の提示を旨とせずベテラン医療ソーシャルワーカーの実践行動と根拠の解明	400
基盤C	地球	教授	岩崎 望	17K07274	次世代シーケンシング技術を用いた日本近海産宝石サンゴの幼生分散の解明	1,400
基盤C	心理	教授	上瀬 由美子	17K04329	「可視化した社会システム」導入による「接触」促進と社会的包摂過程の検証	1,000
基盤C	心理	准教授	永井 智	17K04467	援助要請の質に注目した適応的な援助要請のあり方の検討	800
基盤C	心理	研究員	島田 直子	17K04466	知能検査UNIT2とC-LIMを利用した多文化心理教育アセスメントモデルの開発	1,200
若手B	社福	専任講師	川本 健太郎	17K13887	離島における地域ケアシステムの形成を目指した当事者参加型アクションリサーチ	900
若手B	社福	助教	渡邊 孝継	17K18172	自閉症スペクトラム障害児における他者の視線理解による社会的相互作用の促進	500

継続分（平成24年度～28年度採択）

研究種目	学部	職名	氏名	課題番号	課題テーマ	交付額 (千円)
基盤B(海外)	経営	教授	吉田 健太郎	26301025	日本中小企業のアジア域内における分業構造とリバース・イノベーションとの関係性	3,100
基盤B(海外)	社福	客員研究員	齋藤 昇	15H05203	開発途上国の自立的改善を促す教員養成大学院創設方略についての学術調査研究	2,400
基盤C	文	教授	児馬 修	15K02615	動詞から派生される-able形容詞に関する史的考察	1,000
基盤C	文	教授	増田 久美子	25370301	アンテバラム期米国におけるドメスティシティ、その汎テクスト的な解釈枠設定の試み	300
基盤C	文	教授	村田 純一	16K02141	科学と宗教——日本哲学の観点から	1,100
基盤C	文	准教授	伊藤 善隆	26370259	「人を結びつける文化」としての俳諧研究	500
基盤C	文	准教授	堀田 恭子	16K04109	日本と台湾の油症被害者の受容克服過程と救済制度、環境運動の比較環境社会学的研究	600
基盤C	経済	教授	小沢 奈美恵	26370339	アメリカン・ルネッサンス期の先住民作家William Apessとその文学	100
基盤C	経済	教授	真田 治子	16K02741	明治期の中高等教育・高等教育と近代学術用語の伝播・定着との関連性に関する研究	700
基盤C	経済	准教授	慶田 昌之	16K03670	金融政策委員会の選好・集約的意思決定に関する自然言語解析に基づく定量的分析	1,100
基盤C	経済	准教授	渡部 真弘	15K03363	区分的線形である非線形価格に関する研究	1,000
基盤C	経営	教授	榎戸 智也	16K00142	省電クラウド・コンピューティング・システムのための負荷分散アルゴリズムの研究	1,200
基盤C	経営	教授	中村 勝克	16K03546	機械化が熟練・非熟練労働に与える影響を捉える成長モデルの構築および政策分析	800
基盤C	経営	教授	畢 滔滔	16K03954	新産業都市における商店街の変遷：企業社会の影響に関する理論的・実証的研究	900
基盤C	法学	研究員	山地 啓司	16K01678	呼吸筋トレーニングが持久性能力を高める生理的メカニズムの究明	800
基盤C	社福	教授	満口 元	16K01169	日本における科学と社会の今日的課題の解決に寄与する関連領域を含む新たな科学史研究	2,000
基盤C	社福	客員研究員	齋藤 昇	15K04457	数学イノベーションを生み出す数学授業モデルの開発と教師教育への適用	900
基盤C	社福	准教授	岡本 依子	16K04335	子どもの妊娠から成人までの長期縦断研究から見る親子の発達	1,300
基盤C	地球	准教授	白木 洋平	15K01174	千葉県谷津干潟におけるアオサの空間動態および要因に関する研究	500
基盤C	心理	教授	田中 輝美	15K04150	未来時間展望の操作が社会不安傾向者の注意バイアスに及ぼす影響	600
基盤C	心理	教授	西田 公昭	15K04041	詐欺やカルトのマインド・コントロール被害に対するリスク対策教育ツールの開発研究	900
基盤C	心理	特任教授	浅沼 茂	16K04747	アクティブ・ラーニングによる思考力育成のための道徳カリキュラムの研究	1,000
基盤C	心理	准教授	八木 善彦	15K00211	単純接触効果の応用的成果実現のための基盤的研究	1,100
基盤C(特設分野)	経済	准教授	櫻井 一宏	16KT0152	総合的フロー分析に基づいたウナギ資源の持続的利用政策の検討	1,600
基盤C(特設分野)	経営	教授	山本 仁志	15KT0133	ソーシャルメディアにおける世論の極化メカニズムの解明	800
挑戦的萌芽	仏教	専任講師	佐々木一憲	15K12820	「アジア主義」思想の形成と展開の諸相—岡倉天心の思想と人脈を中心に	600
挑戦的萌芽	社福	准教授	志村 聡子	15K13190	「障害児のための家庭教育」をめぐる思想史研究	300
挑戦的萌芽	社福	准教授	新藤こずえ	15K13098	社会的養護における障害児者の支援に関する研究—ライフコースの視点から—	700
若手B	仏教	准教授	丹治 恭子	15K21428	日本の乳幼児施設の機能変化に関する経年比較調査研究：子育ての意味変容の検討	1,900
若手B	経済	准教授	田中 有紀	15K17147	明治清初の科学思想における自然の数値化：音律・天文・数学書の象数易学と西洋科学	700
若手B	経営	准教授	浦野 寛子	15K17147	「おもてなし」概念の構築と海外輸出に関する研究	900
若手B	経営	専任講師	近藤 大輔	15K17170	製造業と異なるサービス業の原価企画の研究	500
若手B	法学	教授	岩切 大地	16K16990	違憲審査制の憲法的対話理論による基礎付けに関する研究	500
若手B	法学	准教授	丸山 泰弘	15K16946	ハーム・リダクションの可能性に関する研究：刑事司法に依存しない薬物政策のために	800
若手B	法学	准教授	柳 武史	26780032	独占禁止法上の「効率性の抗弁」の根拠及び判断基準をめぐる比較法学と経済学の協働	700
若手B	社福	専任講師	関水 徹平	15K21427	「ひきこもり」経験者の「当事者」発信に関する社会学的研究	500
若手B	社福	助教	野澤 義隆	16K17278	育児ストレス軽減に向けた夫婦関係の変化に関する研究	500
若手B	地球	特任講師	本岡 拓哉	15K16891	都市の河川敷の利用をめぐる社会・政治地理学的研究	600
若手B	心理	准教授	高橋 尚也	15K17256	市民参加の持続性と多様性をもたらすコミュニティ組織運営手法の開発	900
若手B	心理	特任講師	遠藤 寛子	16K17318	感情への気づきを促す児童用言語表現教育プログラムの開発：国語教育との融合	700
若手B	心理	助教	尾花 真梨子	15K21428	小学生の攻撃性タイプと心理社会的適応に関する実証的研究	700
研究活動スタート支援	地球	助教	関根 一希	16H07263	地理的単為生殖昆虫類における両性生殖系統と単為生殖系統の共存メカニズム	1,100
特別研究員奨励費	法学	PD	大井 赤亥	15J12560	イギリス・ニューレフトの政治理論—社会主義の文化的道徳的変容に関する思想史研究	600
国際共同研究強化	経営	教授	畢 滔滔	15KK0135	サンフランシスコ市の商店街活性化：協働型計画の役割に関する理論的・実証的研究（国際共同研究強化）	-（初年度交付）
基盤B	文	准教授	森田 直子	25284148	感情の共同体？—ドイツ近現代史への新たな視座	-
基盤C	文	教授	島村 幸一	24520236	『琉球国由来記』『琉球国日記』を中心とする琉球王府編纂事業の基礎的研究	-
基盤C	文	准教授	浅岡 隆裕	26380711	現代日本における昭和ノスタルジア志向の実証的研究	-
基盤C	社福	教授	保正 友子	25380785	医療ソーシャルワーカーの業務継続中断を規定する個人と環境との相互作用に関する研究	-
基盤C	地球	准教授	貝沼 恵美	26370933	フィリピン共和国から海外流出する若手頭脳の還流に関する地理学的研究	-
若手B	心理	専任講師	ウンサーシュッツ・ジャンカーラ	25770160	新しい名前の読みにくさとその社会的負担	-